


















※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社デザイン計画)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			役員2名、社員2名による委員会を設置し、相談体制を整えている。定例会議で呼びかけを行い、現在まで差別についての相談は無い。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			差別の禁止委員会の役割に「ハラスメント禁止」事項を追加し、徹底した社内教育を実施。総務部に相談窓口を開設しているが、現在までにハラスメントについての相談は無い。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8										16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			労働管理事務所と連携し、NO残業の徹底を図るため、新システムの導入等、業務の改善に取り組んでいる。またチーム内で協力し、長時間労働の防止に取り組んでいる。									8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		当面は外国人労働者の採用は行わない。				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			総務部長の管理下で行っている現業部門との会議を継続し、整理整頓に努め、リスクの見える化を図っている。			3						8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			2021.06月より総務部長の管理下で、2か月毎に個人面談を実施し早期の異変察知に努めている。また有給休暇の取得を推進させワークライフバランスを取ることで心の健康の維持に取り組んでいる。			3																
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			定年を65歳に延長し、就業規則の改訂を行った。また、外部の労働管理チームと連携して変化する雇用形態に対応している。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社外、専門企業のセミナー参加、教育プログラムの導入などを通じた新人研修を入社から2年間は実地している。				4	5.5				8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			労働管理事務所と連携し、2024.4月に社員同様にパート社員の昇給も行った。併せて社内の部門間の業務別の賃金、労働時間について公平となるように、環境を整えている。					5.5				8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健康経営にはワークバランスの取れた勤務実態が不可欠である。社員に声掛けをし、未消化有給の取得、定時退社の推進に取り組んでいる。業務の状況をみながら、土曜出勤日を有給の取得に当て休業日にするなど対策を講じている。			3						8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			許認可を持つ外部の産業廃棄物処理会社と年間契約を結び分別・リサイクルを行っている。											11.6	12.4		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	【予定】継続して社内の排出量を見える化し、削減に向けた取り組みを実施する。								7.3					13						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			社用車のハイブリット化を実施。4台中、2台はハイブリット車に入れ替え済み。今後は電気自動車等への移行を進める。								7.2 7.3				12.4	13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			取扱製品並びに原材料の成分など、ミルシートを取り寄せ確認～チェックを今後も継続する。不適合な素材についてはメーカーと代替品について協議を行い改善を進める。			3.9			6.3					11.6	12.4							

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性或生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			14項目の有害化学物質のチェックと合わせ生産から流通までの経路上の生態系リスクを見える化している。						6.6										15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			全ての業務で行う「3R」推進を拡大して、全国に広がる取引先も含めた活動を継続している。										12.5		14.1						
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			社内の水の使用量を毎月、確認。総務部門で削減進捗を定例会議で報告、チェックしている。						6.4 6.6												
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【非該当】		企業規模が小さい為、規格の取得はしていない。また今後の取得も考えていない。				3.9		6	7				12	13.3	14	15				
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			SDGsの県への登録申請に合わせ、自社HP、自社運営の通販ショップを通じて環境への取り組みを開示している。併せて定期配信のSNSで継続したNEWS配信を行っている。										12.6								
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			電力、燃料などの再生可能エネルギー利用について、総務部門において、研究を継続している。						7.2						13						
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			仕入れ部門を中心に外注各社の取り組みを確認し、天然資源活用企業との取引に取り組んでいる。										12.2	13	14	15					
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			見積り、契約、納品、決済の各業務のチェック体制を強化し、未然に防ぐ取り組み強化とコンプライアンス学習を実践している。																	16 16.5	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			上記と同じくコンプライアンス委員会 で厳しいチェックを行っている。また定期のセミナーを開催している。																		16
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			特許事務所との連携で行っている自社所有の知的財産並びに顧客から預かる知的財産の管理について、総務部門を中心に保護の強化に取り組んでいる。								8.2 8.3	9									
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			通販ショップの伸長から、顧客から預かる個人情報が中、継続する管理を強化している。併せてプライバシーマーク認証に向けて取り組みを進めている。																	16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			【天然資源の持続的利用】と合わせ仕入部門にて取引全般について該当する素材の確認を行っている。																		16
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性或生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			ベトナム、中国の既存取引先、また国内の提携先とのコミュニケーションを高め全ての面で平等を掲げ継続した取引を今後も行う。						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	【予定】現在は作成・公表していない。半年以内に総務部門に於いて登録に向け対応する。										3			8	9	10			17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定